文化

三鷹 0201038

古文書講座 江戸の町触を読む 初級編

受講料 (振込額)	18,000円				
必携テキスト					
講座概要	曜 日 火曜日			日 程	
	時 間	18:30 ~ 20:00			4月7・14日 5月19日
	回 数	全12回	定員	50名	6月2・16・30日 7月7・21日
	開講場所 三鷹サテライト教室 7F 大教室			8月18日 9月8・15・29日	
	国分寺市ふるさと文化財課職員 中元 幸二 (なかもと こうじ)				
講師	昭和63年(1988) 立正大学文学部史学科卒業。平成3年(1991) 立正大学大学院文学研究科史学専攻修士課程修了。 平成2年(1990) ~平成23年(2011) 東京都公文書館専門員在職。平成23年(2011) ~現在国分寺市ふるさと文化財課在職中。 「北条氏所領役帳の諸本について」(神奈川地域史研究第15号、平成4年【1992】12月) 『寒川町史6 通史編 原始・古代・中世・近世』所収「第二部古代・中世 第三章南北朝・室町時代の寒川」(平成10年【1998】11月、寒川町)「中世相模における水系と開発」(神奈川地域史研究第26号、平成20年【2008】12月)				
内容	江戸時代の古文書読みこなすためには、文字のくずし方を覚えて、どの文字なのかが解ることは 必要になります。くずし字には、漢字・ひらがな・カタカナが様々な形状で表れ、読み方も漢 文のような方法を使い、異体字のように現在では使われていない文字表現も出てきます。こうし た一つ一つの文字を追いながら、くずし字を読んで行きます。さらに書式や様式を理解すること で、文章の読み方や内容を理解するための基礎を解説します。テキストには、一定の様式で書かれた町触を使用します。江戸の町奉行が、町々の名主たちに対して、政治向きのことから生活のこまごまとした事柄に及んだ様々な内容を通達したものです。町触を読みながら、江戸の町の様子を垣間見つつ、古文書の解読を解説します。				

世界の幸せをカタチにする。

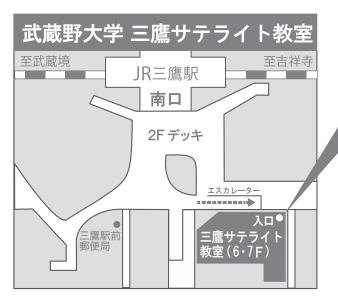


武蔵野大学

お問い合わせ TEL 042-468-3222 FAX 042-468-3211 開室日:月~金曜日 9:30~18:00 (祝日を除く) + 15:30 (祝日を除く)

武蔵野大学 地域交流推進室 〒202-8585 西東京市新町1-1-20 www.musashino-u.ac.jp

武蔵野大学 三鷹サテライト教室



〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3丁目26-12 三鷹三菱ビルディング

> JR中央線・総武線 東京メトロ東西線 JR三鷹駅 南口より徒歩1分

三鷹三菱ビル 6 ■ 7 F (三菱UFJ銀行のビル)

1階入口からお入りください。

- ・前の時間に講座がある場合は教室の準備ができるまでお待ちいただくことが あります。
- 教室前の机にある出席簿に○をつけてから教室にお入りください。
- ・生涯学習講座登録証を携帯してください。
- ・ 欠席の連絡は必要ありません。
- ・駐輪場、駐車場はありませんのでご了承ください。